

# 復興プロジェクト「立ちあがろう嘉島町 負けんばい嘉島中」

## 嘉島町立嘉島中学校生徒会の取組

平成28年4月に熊本地震が発生し、嘉島町も甚大な被害を受けました。学校は約2週間臨時休校となりましたが、その間、生徒たちは、自主的に避難所などでボランティア活動を行っていました。

5月9日の学校再開後は、生徒会執行部が集まり、嘉島中学校から嘉島町に元気を与えることができないかと話し合いを重ね、嘉島中復興プロジェクトを立ち上げることにし、『立ちあがろう嘉島町 負けんばい嘉島中』をスローガンに掲げ、各委員会や部活動で支援活動を始めました。

### 【取組の内容】

#### ① スローガンの看板設置

「復興プロジェクト」を立ち上げるにあたり、スローガンの検討を行いました。地震に負けず、前に進んでいきたいという思いから決定したスローガンが『立ちあがろう嘉島町 負けんばい嘉島中』です。生徒会執行部でスローガンの看板を作成し、避難所や地域住民から見える場所3カ所に設置しました。避難所を運営している町職員の方から、「涙が出るほどうれしかった。」という言葉いただきました。



#### ② 避難所の清掃活動

月曜日から金曜日（水曜日を除く）の放課後、部活動ごとに中学校横にある避難所となっている町民体育館の清掃活動を実施しました。毎月担当する部活動を決め、計画的に活動を行うことができるようにしました。事前に町職員の方と活動内容等の打ち合わせをすることで、その都度、避難所で求められている活動ができるようにしました。活動内容は主に、トイレやフロアの清掃、夕食のお弁当配り等でした。



#### ③ メッセージボードの作成

2年生では、道徳の時間にボランティア活動について学習をしました。その後、学級委員が中心となり、学級活動の時間を利用して避難所で生活されている方を元気づけるためのメッセージボードを作成しました。一人一枚メッセージカードを書き、2年生89名の思いを込めたボードとなりました。町職員の方と相談をし、避難所に掲示をさせていただきました。



#### ④ 花いっぱい活動

心の安らぎと復興への願いを込めて、美化委員会を中心に花いっぱい活動を行いました。

美化委員長が近くの農業高校に花の苗の提供を依頼し、土やプランターの準備をしました。きれいな花で少しでも気持ちが明るくなるようにと、避難所となっている町民体育館から見える場所にプランターを設置しました。

また、阪神淡路大震災後に始まった「はるかひまわり絆プロジェクト」に参加し、いただいた種からひまわりを育て、100本以上のきれいな花を咲かせました。

現在、学校の正門周辺や玄関に配置し、来校された方を迎えています。



#### 復興プロジェクトへの思い

嘉島中学校生徒会長

4月に起きた熊本地震で当たり前だった生活が一瞬でなくなり、地震への恐怖と不安に苦しみました。しかし、そのような中でも臨時休校中に、自らの判断で物資配布のボランティア活動に参加した友だちをたくさん見ました。

学校再開後、嘉島町のために私たちに何かできることはないかと生徒会執行部で話し合いを始め、「復興プロジェクト」を立ち上げることにしました。それぞれたくさんの思いがあり、プロジェクトのローガンや活動内容を決めるだけでも何日もかかりました。大きく支援活動と交流活動の二本柱とし、嘉島中から嘉島町民の方々に元気を届けたいという思いから活動を行っています。

活動としては本当に小さなことかもしれませんが、それでも復興に向けて少しでも力になれるように一人一人ができることを頑張っています。ボランティア活動をしているとき、避難されている方からの「ありがとう」の言葉はとてもうれしかったです。これからもボランティア活動だけでなく、学校行事等とおして一生懸命頑張っている姿を見てもらい、少しでも元気になってもらいたいと思います。それが今私たちにできることだと思います。

生徒たちの「嘉島中から嘉島町に元気を届けたい」という思いから、学校が再開していち早く復興プロジェクトを立ち上げました。いろいろなボランティア活動を行う中で、地域の方からの言葉に生徒たち自身も励まされていました。また、全国各地からたくさんの応援や支援をいただき、人と人とのつながりや温かさを改めて感じることができました。これを機に他県の中学校との交流等も計画しています。

